



### 訪問旅行

### 花木瞳



友人と二人この旅行に参加、北の地の香りどんな香り、この6月25.26の2泊での旅、はじめて新幹線はやぶさにての新函館北斗駅、我が故郷の地にいつ日かと夢見ていたその車両がホームへと、エスカレータ上りつつ住んでいる所との空気の違い、やっぱり故郷の地、市よりの方々に迎えられまして、ご挨拶後バスにての行動、この地を離れて半世紀近い、年に少なくとも一度は墓参りや友との出会いに、卒業後7年間地元会社へ勤めその後、憧れの都には連絡船で4時間程の時間、その時間にて東京～北斗市への時間とはこんなにも近くなりただただ驚く次第です。

年齢が重ねるに足を運ぶごと、この町の風光明媚さに気づかされ、海あり、山あり、なんとこのパノラマ、若い頃は何を見ていたのだろうか気づいていなかった。この旅行にて小学生時代の思い出が、学舎は清川と云う地名に沖川小学校、春の遠足は桜の並木道を通り戸切地陣屋への決りコース、秋には冬支度の小枝拾い、運動会は小さなグラウンドに家族の応援、1.2.3等賞品は鉛筆、ノート、なにを手にしたのだろうか、うん、懐かしい。

合併後の北斗市は広く、小さい頃は道など通っていなかったがあちらこちらに、裏道より市のバスにてセメント工場の峯鉾山へ(天候悪く山の上にはいけず、晴れていましたら海原や函館山の方向が)、夜にはアンビックス函館倶楽部にての歓迎式典、楽しいひと時が(山よりの眺め天候悪く残念、またの日)翌日は、トラピスト修道院の中への見学、71歳にて初めてどんな所かなと興味津々、修道士さんの説明、規律がやはり厳しい(礼拝堂は思ったよりもすごくシンプルでした)修道士さん凛として格好いいなと一声、美しいレンガ造りの建物をあとにし、きじひき高原山頂へ眺め270°と凄い展望、中腹にはバンがロー、季節ごとの楽しみが、又の機会に、今夕も旅の醍醐味、やはり食事に、温泉 バイキングコースにていくらたっぷりのご飯、おいしかった、満足満足でした。

商工会の皆さまよりの差し入れご馳走さまでした。お土産にシュウマイ早速我が家へ、2泊3日の行程はバスにての行動、ガイドさん最高でした。いろいろとお気遣いして頂き本当にありがとうございました。来年は桜の時期に足を運びたい、又新幹線にて北斗市へ。



### 会長から一言

### ふるさと訪問旅行

東京北斗会会長 佐藤金也

ふるさと訪問時は天候に恵まれませんでしたでしたが参加者の気持ちは高揚していた。初日アンビックス函館倶楽部で開催された“歓迎の集い”には高谷市長様 始め市議会議員 市会議員 市幹部 関係団体の皆様が出席し温かいもてなしで大歓迎してくれた。

函館山や津軽海峡が一望出来るアンビックスはロケーションも最高 食事もなかなかのレベルで一同大満足でいつまでも余韻に浸ってました。また 多忙にもかかわらず2日間“バスガイド”をしてくれた石川経済部長には感謝したい。絶妙 軽妙な案内説明で参加者をとりこにした。

2日ないし3日間の旅行でしたがあらためて我がふるさとの良さ素晴らしさが痛感され生涯の想いとして記憶に刻まれることでしょう。

最後に参加者の皆様 準備に奔走してくれた旅行委員の皆様に感謝したい。

